

# 公安委員会定例会議(第10回)の開催状況

第1 日 時 令和4年4月13日(水)

午後1時30分 ～ 午後3時25分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長

第3 議事の概要

## 1 渡部委員説示

最近、私の心を明るくしてくれたニュースがありました。それは4月6日に放送された警察学校の入校式です。ニュースでは、数名の初任科生がインタビューに堂々とした口調で答えていました。それらを目にし、警察人生が始まる場面で自信を持って自分のことを語る姿に感動するとともに、どんな困難も乗り越えられる強い精神力を持った警察官になってくれると感じました。初任科生はそれぞれ進んできた道が違います。そういった点も考慮しつつ、しっかりした教養をしていただきたいと思います。

もう1点は、昭和22年に創刊され、今も発刊されている県警の月刊誌「かがりび」についてです。「かがりび」は、職員の情報交換や情報共有という役割だけでなく、士気を高め、友情を深め、教養を高めることにも役立っていると思います。「かがりび」の作成に当たってはかなりの労力が必要だと思いますが、これからも県警全体で創意工夫を重ねながら守っていただきたいと思います。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第9回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 行政訴訟事件の応訴体制

警務部から、行政訴訟事件の応訴体制について伺いがあり了承した。

### (3) 愛媛県警察会計監査に関する訓令に基づく会計監査の令和3年度実施結果及び令和4年度実施計画

警務部から、愛媛県警察会計監査に関する訓令に基づく会計監査の令和3年度実施結果及び令和4年度実施計画についての報告があり了承した。

### (4) 令和4年度愛媛県留置施設視察委員会委員の任命上申

警務部から、愛媛県留置施設視察委員会委員の任命上申について伺いがあり了承した。

### (5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果16件の行政処分の決定について伺いがありました。

### 3 報告事項

#### (1) 令和4年「春のプロムナードコンサート」開催予定

総務室長から、令和4年「春のプロムナードコンサート」の開催予定について報告があった。

委員から、「継続して開催してきたこともあり、地域住民に定着し、みんなが楽しみにしている。コロナ禍で大変だと思うが、今後も継続開催に努めていただきたい」との発言があった。

#### (2) 企業研修の実施方針

警務部長から、企業研修の実施方針について報告があった。

委員から、「異業種の仕事を見ることは大変勉強になると思う。警察にはない良いところばかりを見るのではなく、警察組織の素晴らしさを外から見ることも大事である」との発言があった。

委員から、「受け身ではなく、積極的に意見交換会をするなど自ら学ぶという意識で取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「さまざまな経験を積むことで役立つことは多い。今後も継続的に取り組んでいただきたい」との発言があった。

#### (3) 第38回勲章伝達式の開催

首席監察官から、第38回勲章伝達式の開催予定について報告があった。

#### (4) 小学校入学式における見守り活動の実施

生活安全部長から、県下の小学校入学式における見守り活動の実施について報告があった。

委員から、「警察と学校が相互に声を掛け合って関係を深め、一緒になって安全意識を高めるよう努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「一昔前は警察は怖い存在であったが、こういった市民に身近な警察活動があると、親しみがわいて警察をより近くに感じることができる。引き続き同様の取組を推進していただきたい」との発言があった。

#### (5) 未成年者誘拐事件被疑者の逮捕（松山東署）

刑事部長から、4月8日、未成年者誘拐事件被疑者を逮捕した旨の報告があった。

委員から、「県警が他県警と手を取り合い、被害者を素早く発見できたことは良かったと思う。引き続き、未然防止と発生時の早期検挙に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「ネット社会が進めば進むほど、類似の事件が発生すると思う。こうした犯罪の手口に関する広報についても充実させていただき

たい」との発言があった。

(6) 県庁職員を騙る詐欺等事件の発生

刑事部長から、3月23日以降の県庁職員を騙る詐欺等事件の構図等について報告があった。

委員から、「誰一人として騙されることがないように新たな手口について注意喚起することが一番大事だと思う。引き続きいろいろな形で広報していただきたい」との発言があった。

委員から、「銀行側の問題として、利便性の説明だけではなく、予想されるリスクも丁寧に説明することが重要であると思う」との発言があった。

委員から、「実質的な被害者は銀行である。警察の指摘を受け、銀行はシステムの脆弱性の排除に努めるとともに、自らの問題として再発防止につなげていくことが肝要である」との発言があった。

(7) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、苦情の受理及び処理状況（令和4年3月末）について報告があった。

(8) 警察職員の任用

警務部から、警察職員の任用について報告があった。

(9) 人事案件

警務部から、人事案件について報告があった。

4 その他

(1) 刑事部長から、新居浜市内の竹林において新生児の遺体が発見されたことを受け、捜査を開始した旨の報告があった。

(2) 本部長から、「委員説示のとおり、『かがりび』の発行のような職員の士気や教養を高める活動を継続することで、心にゆとりができ、より良い仕事ができるようになる。将来にわたり大切に保存していくこととしたい」「種田山頭火が春について詠んだ俳句の一つに「学校も役場もお寺もさいたさいた」がある。どこにいても一斉に春はやってくるという情感が謳われている。春になるにつれて社会経済活動も活発化し、事件事故が発生するリスクが高まってくるので、一つ一つ丁寧に対応していきたい」との発言があった。

以上